（別紙3）

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	KID ACADEMY PERSONAL新大阪校(放課後等デイサービス)			
○保護者評価実施期間	2025年11月12日	～	2025年12月12日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	22	（回答者数）	16
○従業者評価実施期間	2025年11月12日	～	2025年12月12日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	22	（回答者数）	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月15日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々の発達段階や特性に応じた療育の充実	利用児童の状況や特性を踏まえ、課題および各種プログラム(運動・個別・小集団)の内容を柔軟に構成し、実施しています。	外部研修および事業所内研修の計画的実施と内容共有を通じて、職員の専門性向上を図ります。
2	一人ひとりの特性に応じた環境調整	プログラム間にフリータイムを設け、使用した教材や物品を整理したうえで、次の活動に適した環境を整えています。 また、スケジュール提示については、写真・イラスト・文字などの視覚支援を活用し、提示方法や手順を児童の理解度に応じて調整しています。	今後も、空間を区切ることができるパーテーションを効果的に活用し、活動に応じた環境設定を行います。 また、本年度は小学生にも使いやすい収納棚を導入しました。今後も児童の発達段階やニーズに応じた環境調整を継続して行います。
3	保護者との振り返り機会の充実	必要に応じて個別面談を実施するとともに、送迎時には当日の様子について保護者へフィードバックを行っています。 また、月1回発行するマンスリーレポートにおいて、1か月の活動状況を報告しています。	今後も振り返りの機会や面談を継続的に実施します。 また、保護者茶話会の開催や家族支援の充実を通じて、相談・情報共有の機会を拡充していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部との交流機会の確保	平日午前は保育所等訪問および午前療育を実施し、午後も療育を行っているため、職員体制や時間の確保が難しく、外部との交流機会を十分に設けられていない状況があります。	今後は、会社全体での取組状況を共有するとともに、他事業所における外部交流の実践例を収集し、実施可能な方法を検討していきます。
2	保護者間交流の促進	交流機会の開催日時によっては、保護者の就労等の都合により参加が困難な場合があることが課題です。	今後は、保護者交流のための時間を計画的に確保できるよう検討します。スタッフ間で協議を行い、開催に向けた具体的な体制整備を進めます。
3	研修・訓練内容の周知	マンスリーレポートにて研修および訓練内容を報告していますが、「わからない」との回答もあり、周知方法に課題があると認識しています。	今後は、マンスリーレポートに加えて複数の媒体を活用するなど、より分かりやすい周知方法を検討します。